

授業づくりについて

出典

- ◆ 文部科学省「学びのイノベーション事業実践研究報告書（平成26年）」より
- ◆ 文部科学省「教育の情報化に関する手引(令和元年12月)」より

ねらい

「授業プランシート」を活用し、児童生徒がICTを活用する授業を構想する。



授業プランシート

指導者：

学校名		学年・組		教科		単元名	
単元目標							
単元計画	学習のねらい	主な学習活動	学習場面	情報活用 の実践力	児童生徒の ICT 活用		
			一斉 個別 協働	集める まとめる 伝える			

本時の展開（ 月 日 時間目 ）

本時のねらい	ICTを教科等の指導に取り入れるねらい
育成したい情報活用能力	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(ICTを活用することの効果)</div> ➔ <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 40px; display: inline-block; margin-left: 10px;"></div>
情報活用の実践力育成の観点（複数可） <input type="checkbox"/> 集める <input type="checkbox"/> まとめる <input type="checkbox"/> 伝える ICT活用の学習場面の分類（複数可） <input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習	児童生徒がICTを使用する目的を意識できる発問
学習活動	■児童生徒がICTを使用する目的を意識できる発問 <input type="checkbox"/> 指導上の留意点 ☆ICT活用場面
1	
2	
3	
4	
めあて	
まとめ	

授業プランシート

指導者：

学校名	総合教育センター	学年・組	2年1組	教科	算数	単元名	かけ算九九づくり
単元目標 乗法の意味を理解し、その意味や乗法に関して成り立つ性質をもとに乗法九九を構成し、九九を唱えることができるとともに、具体的な場面で乗法を用いることができる。							
単元計画 (全17時間)	学習のねらい	主な学習活動	学習場面	活用場面	児童生徒のICT活用		
			一斉 個別 協働	集める まとめる 伝える			
1	6の段の九九の構成の仕方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 6の段の九九の構成の仕方について考える。 累加や乗数と積との関係など既習の考えを活用して、6の段の九九を構成する。 					
2	6の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 6の段の九九を唱え、カードなどを使って練習する。 6の段の九九を見直し、九九表やアレイ図などを基にして、交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 6の段の九九を用いて問題を解決する。 					
3	7の段の九九の構成の仕方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 7の段の九九の構成の仕方について考える。 累加や乗数との関係に加え、交換法則など既習の考えを活用して、7の段の九九を構成し、九九表に答えを書く。 					
4 5	7の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 7の段の九九を唱え、カードなどを使って練習する。 7の段の九九を見直し、九九表やアレイ図を基にして、交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 7の段の九九を用いて問題を解決する。 	個別		<ul style="list-style-type: none"> つまずきが想定されるため、児童がパワーポイントを用いて九九の反復練習を行い、各自のペースで理解しながら学習を進めて知識・技能の習得をはかる。 		
15(本時)	身の周りから、乗法で全体の個数を求められる場面を見だし、式で表すことの良さを実感する。	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内にあるものの中からいろいろな数の求め方を、集めた写真を基に考える。 それぞれの考えを発表し、検討する。 	協働	集める 伝える	<ul style="list-style-type: none"> 児童がタブレットを使って、身近な校舎内から情報を収集する。 大型テレビに映し出し、児童が見やすいサイズに拡大し、発表する。 		

学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習

A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B 個別学習

B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

C 協働学習

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

B5 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

C3 協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

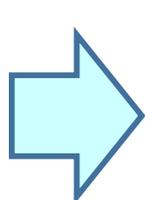
C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

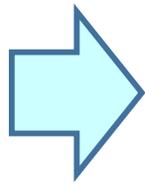
情報活用の実践力育成の三つの観点

情報を収集・選択する



集める

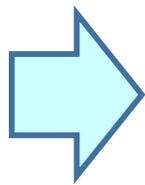
情報を整理・比較する



まとめる

情報活用の実践力育成の三つの観点

わかりやすく相手に伝える



伝える

情報活用の
実践力

集める
まとめる
伝える

情報活用能力の体系表例

【情報活用能力の体系表例(IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの)】(平成30年度版)全体版

分類	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5	指定される学習内容			
1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	①情報技術に関する技能	a コンピュータの起動や終了、作業手順などの基本操作 b データファイルの呼び出しや保存 c 画像編集・ペイント系アプリケーションの操作 d ...	a キーボードなどによる文字の正しい入力方法 b データファイルの検索 c 画像編集アプリケーションの操作 d ...	a キーボードなどによる文字の正確な入力 b データファイルの検索 c 目的に応じたアプリケーションの選択と操作 d ...	a キーボードなどによる十分な速さで正確な文字の入力 b データファイルの検索(「パスワード」による暗号化、バックアップ等) c 目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 d ...	a 効率を考えた情報の入力 b データファイルの適切な活用(クラウドの活用や検索の効率化) c 目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 d ...	プログラミング 基本的な操作等		
	②情報と情報技術の特性の理解	a ... b ... c コンピュータの構造 d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	情報と情報技術の活用を多様な視点から評価し、改善する手続	
	③記号の組合せ方の理解	a 大抵の事象の分類と組み合わせの理解 b ...	a ... b ...	a ... b ...	a ... b ...	a ... b ...	a ... b ...	情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、改善する手続	
	④情報の収集、整理、分析、表現、発信の理解	a ... b ... c ... d ... e ... f ... g ... h ... i ... j ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ... g ... h ... i ... j ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ... g ... h ... i ... j ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ... g ... h ... i ... j ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ... g ... h ... i ... j ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ... g ... h ... i ... j ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ... g ... h ... i ... j ...	情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、改善する手続
	⑤情報活用の計画や評価、改善のための理解や方法の理解	a ... b ...	a ... b ...	a ... b ...	a ... b ...	a ... b ...	a ... b ...	情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、改善する手続	
	⑥情報技術の役割・影響の理解	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	情報に関する個人の権利と社会的責任を認識し、適切に行動しようとする				
	⑦情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	情報モラル・情報セキュリティ				
	⑧情報モラル・情報セキュリティの理解	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	情報モラル・情報セキュリティ				
	⑨必要に応じて適切な情報を選択し、適切に活用しようとする態度	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	情報モラル・情報セキュリティ				
	⑩責任をもち、適切に情報を選択しようとする態度	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	a ... b ... c ... d ... e ... f ...	情報モラル・情報セキュリティ				

集める まとめる 伝える

集める まとめる 伝える

集める まとめる 伝える

授業プランシート

指導者：

学校名		学年・組		教科		単元名	
単元目標							
単元 計画	学習のねらい	主な学習活動	学習場面	情報活用 の実践力	児童生徒の ICT 活用		
			一斉 個別 協働	集める まとめる 伝える			

本時の展開（ 月 日 時間目 ）

本時のねらい	ICTを教科等の指導に取り入れるねらい
育成したい情報活用能力	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(ICTを活用することの効果)</div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 40px; display: inline-block; margin-left: 10px;"></div>
情報活用の実践力育成の観点（複数可） <input type="checkbox"/> 集める <input type="checkbox"/> まとめる <input type="checkbox"/> 伝える ICT活用の学習場面の分類（複数可） <input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習	
学習活動	■児童生徒がICTを使用する目的を意識できる発問 <input type="checkbox"/> 指導上の留意点 ☆ICT活用場面
1	
2	
3	
4	
めあて	
まとめ	

各教科等の学習指導要領を参考に、本時のねらいを設定する。

本時のねらい

身の回りから、乗法で全体の個数を求められる場面を見だし、式で表すことの良さを実感する。

育成したい情報活用能力

身近なところから情報を収集する。

情報活用の実践力育成の観点（複数可）

集める まとめる 伝える

ICT活用の学習場面の分類（複数可）

一斉学習 個別学習 協働学

ICTを教科等の指導に取り入れるねらい

かけ算九九が身近なところでたくさん使われていることを実感できるようにする。

（ICTを活用することの効果）

伝えたい部分を拡大できる
一定時間の中でたくさん見つけられる
実物のように詳しく伝えられる

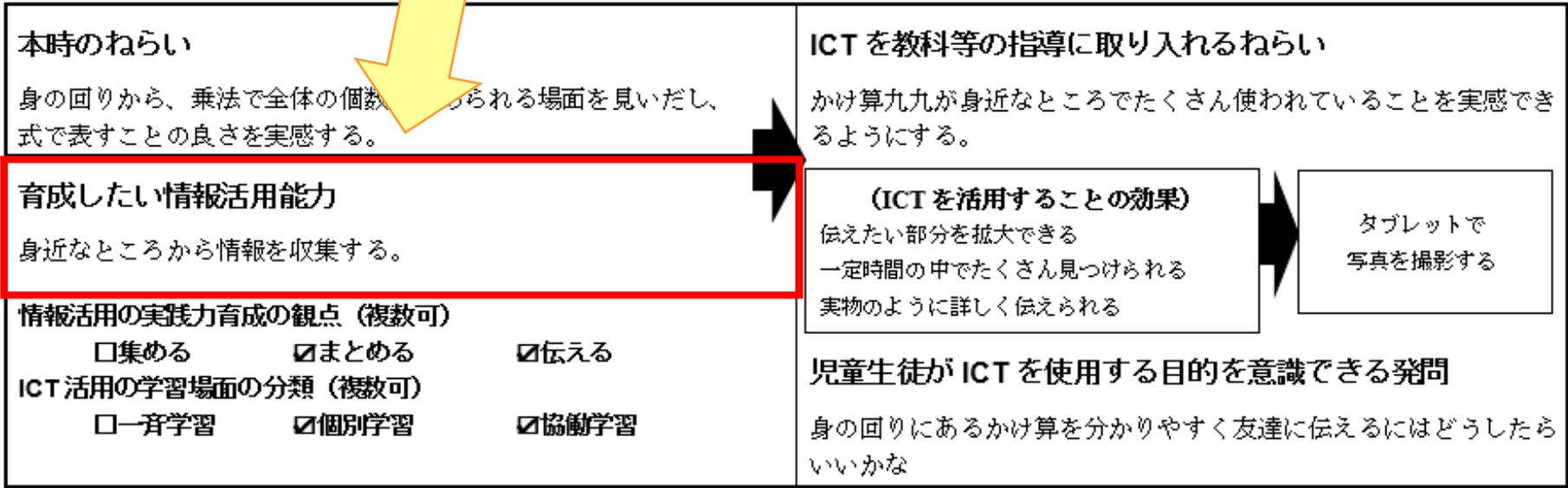
タブレットで
写真を撮影する

児童生徒がICTを使用する目的を意識できる発問

身の回りにあるかけ算を分かりやすく友達に伝えるにはどうしたらいいかな

「情報活用能力の体系表例」にある「問題解決・探求における情報活用」の分類の中から育成したい情報活用能力を記入する。

分類		ステップ1(小学校低学年)	ステップ2(小学校中学年)				
A	知識及び技能	2 問題解決・探究における情報活用の方法の理解	①情報収集、整理、分表現、発信の理解	a	身近なところから様々な情報を収集する方法	調査や資料等による基本的な情報の収集の方法	
				c	共通と相違、順序などの情報と情報との関係	考えと理由、全体と中心などの情報と情報の関係	
				d		情報の比較や分類の仕方	
				e	簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法	観点を決めた表やグラフを用いた情報の整理の方法	
				f	情報の大体を捉える方法	情報の特徴、傾向、変化を捉える方法	
				g	情報を組み合わせて表現する方法	自他の情報を組み合わせて表現する方法	
				h	相手に伝わるようなプレゼンテーションの方法	相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法	
				i			
				②情報活用の計画のための理論や改善理解	a	問題解決における情報の大切さ	目的を意識して情報活用の見通しを立てる手順
					b	情報の活用を振り返り、良さを確かめること	情報の活用を振り返り、改善点を見出す手順



ICT活用の特性・強みを生かすことができるよう、本時のねらいと育成したい情報活用能力を踏まえて考える。

本時のねらい

身の回りから、乗法で全体の個数を求められる場面を見だし、式で表すことの良さを実感する。

育成したい情報活用能力

身近なところから情報を収集する。

情報活用の実践力育成の観点（複数可）

集める まとめる 伝える

ICT活用の学習場面の分類（複数可）

一斉学習 個別学習 協働学習

ICTを教科等の指導に取り入れるねらい

かけ算九九が身近なところでたくさん使われていることを実感できるようにする。

（ICTを活用することの効果）

伝えたい部分を拡大できる
一定時間の中でたくさん見つけられる
実物のように詳しく伝えられる

タブレットで
写真を撮影する

児童生徒がICTを使用する目的を意識できる発問

身の回りにあるかけ算を分かりやすく友達に伝えるにはどうしたらいいかな

授業に取り入れる情報活用の実践力育成の観点とICT活用の学習場面について、単元計画に書き込んだものにチェックを付けます。

児童生徒がICTを使用する目的を意識できるように、指導者がどのような発問をするのか考える。